

児童園だより

第一号

平成二年七月二十日発行

園長あいさつ

二一年度がスタートし、三か月余が経過しました。現在、乳児院からAちゃんを迎え、二歳から高校三年生まで四十八名の園児が生活しています。

当園は、開設以来民生児童委員の方々が主体となつて経営を担っている施設です。現在は、松本市民生児童委員五百四名の皆さんが、当法人の母体として、経営に、ボランティアに、あるいは積立金への協力など様々な面で活動いただいております。

さて、現在の園舎が昭和五八年に完成し二十六年経過していますが、当時は一部屋八畳間に四、五名が生活するものでした。時の流れと共に子どもたちの生活スタイル等も変わってきました。このギャップに対し、集団生活から少しでも個人の生活が尊重できるスタイルに変えていきたいと念願しておりましたが、二年前に立ち上げた外部委員を交えた検証委員会でも、検討課題として指摘をされました。この強い後押しと理事者の理解の中、大規模な施設整備工事を行うことになりました。

この整備の大きな目的は

- 一 生活している子どもたちの生活環境の改善
- 二 子育てショートステイ事業の充実

です。主な改善点は、一については、一階を男子、二階を女子の居住スペースとし、トイレ・洗濯場・物干し場などを改修し、小学生以上の居室を一人部屋（全体部屋数の六十％）と二人部屋にします。二については、平成八年から事業を開始し、最近利用が増えてきましたショートステイ受け入れを別棟で対応するために増築をします。

八月末から工事着工の予定です。これまでの間、浄財をお寄せいただいた方々、

松本市・安曇野市・塩尻市、長野県・国のご協力とご理解、多くの方々の支援に、この紙面を借り改めて心よりお礼申し上げます。無事完成することを願っています。

最後に、今年度から「児童園便り」を定期的（年三回を予定）にホームページに掲載し、情報発信していきたいと考えておりますので、工事の進捗状況などは、次回以降この便りの中でお知らせしてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

園長 岩田 滝彦

開園記念祭を盛大に開催しました

去る五月三十日、開園五十九周年記念祭を開催しました。当日は晴天に恵まれ、多くの関係者の皆様にお越し頂き、盛況のうちに開催することができました。

はじめに毎年恒例のマラソン大会が行われ、子どもたちだけでなく、職員や、ご来場の方々の中からも飛び入りでの参加がありました。上位めざして懸命に走る姿や、友達と一緒に楽しく走る姿など、さまざまな姿が見られました。

係の子どもたちがコースの通過地点に立って誘導を行い、大きな旗を振って応援をしました。ご来場の方々からも声援を送っていただきました。

スタートの合図を待つ子どもたち



そして、場所を中庭に移しての開会式の後、模擬店やゲーム大会が行われました。毎年大人気の鉄火井や焼き鳥などがご来場の方々にふるまわれました。子どもたちも模擬店で食べることできる料理の数々をとて楽しみにしており、父母とともに、または招待した友達を連れて模擬店に並ぶ姿や、自分の受け持った模

開会式



擬店を一生懸命切り盛りする姿が見られました。ゲーム大会はボランティアの方々準備していただいたゲームで子どもたちは大いに盛り上がりました。

本年の開園記念祭も例年同様多くの方々のご協力をいただきました。大変にありがとうございました。

模擬店にて



浴室を改修しました

本格的な増改築工事に先立ち、長野県共同募金会の配分を得て、浴室の改修工事を行い、六月末に完成しました。これまでは何人もの子どもが一緒に入る大きな浴室でしたが、それを三つの小さな浴室に改修しました。

これにより、一般家庭と同じように入浴することができます。小学生は二人でにぎやかに、中高生はひとりでゆったりと入浴しています。まだ真新しいお風呂は子どもたちにとっても好評です。

